

# 保証書

持込修理 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
  - (イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
  - (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
  - (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛けなどによる故障及び損傷
- (ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
- (ホ)本書のご提示がない場合
- (ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
- (ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
- (チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
- ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

|       |                             |     |                    |
|-------|-----------------------------|-----|--------------------|
| 商品名   | ラジオ付耳もとスピーカー Wireless       |     | ★お買い上げ日： 年 月 日     |
| 型 番   | RAD-M067Z-W<br>RAD-M067Z-NE | 品 番 | 07-9806<br>07-9807 |
| お 客 様 | ふりがな                        |     |                    |
|       | ★お名前 様                      |     |                    |
|       | ★ご住所 〒 ー                    |     |                    |
|       | 電話 ( )                      |     |                    |
| 修理メモ  |                             |     |                    |
| 販売店   | ★住所 店名 電話                   |     |                    |
|       | (印)                         |     |                    |

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
- ※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- ※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

**OHM 株式会社 オーム電機**  
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8  
<http://www.ohm-electric.co.jp>

|                                  |                                                           |
|----------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| 製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ            |                                                           |
| ●通話料無料                           | ●携帯・IP・公衆電話からは                                            |
| <b>0120-963-006 048-992-2735</b> |                                                           |
| 電話受付                             | 平日 9:00~17:00<br>※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます                     |
| 修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ            |                                                           |
| 電話受付                             | <b>048-992-3970</b> 平日 9:00~17:00<br>※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます |

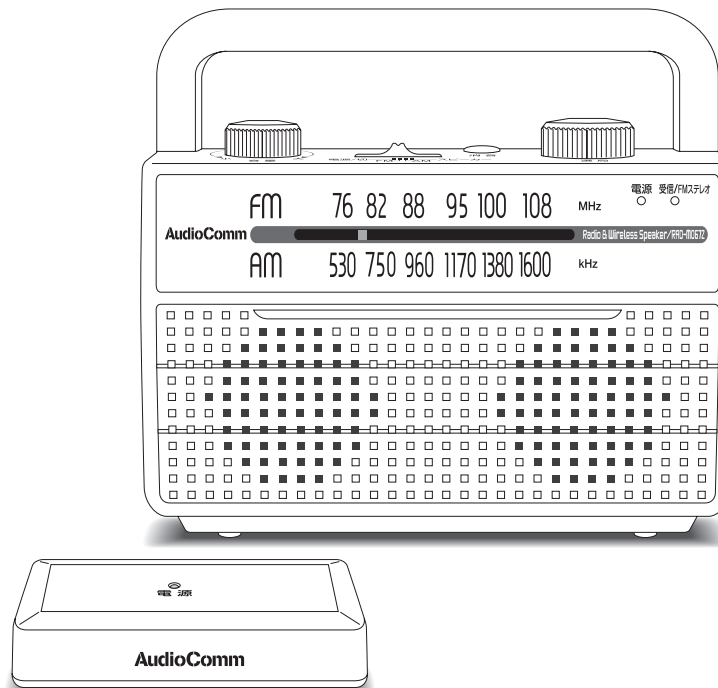
07-9806/9807B

AudioComm®

## 取扱説明書 保証書付

# ラジオ付耳もとスピーカー Wireless

型番：RAD-M067Z-W／NE



このたびは、AudioComm®ラジオ付耳もとスピーカー Wireless を  
お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本機の機能を十分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、  
ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。  
なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

目次

|                  |     |                  |     |
|------------------|-----|------------------|-----|
| 免責事項             | 1   | ラジオを聴く           | 11  |
| 安全上のご注意          | 1～3 | ヘッドホンで聴くときは      | 12  |
| 電波(無線機能)に関する注意事項 | 4   | 故障かなと思ったら        | 12  |
| 各部の名称            | 5   | お手入れのしかた         | 13  |
| 電源について           | 6～7 | 主な仕様             | 13  |
| トランスミッターの接続のしかた  | 8   | 保証書とアフターサービスについて | 14  |
| テレビの音を本機で聴く      | 9   | 保証書              | 裏表紙 |
| ペアリングをしなす        | 10  |                  |     |

## 免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータやプログラムの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

## 安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

## 絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

|                                                                                              |                                                                      |
|----------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|
|  <b>危険</b> | この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。        |
|  <b>警告</b> | この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。                       |
|  <b>注意</b> | この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。 |

## 絵表示の使用例

|                                                                                     |                                                                               |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
|  | △記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。<br>(左図の場合は「感電注意」が描かれています。)               |
|  | ○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。<br>(左図の場合は「分解禁止」が描かれています。)                           |
|  | ●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。<br>(左図の場合は「電源プラグやACアダプターをコンセントから抜く」が描かれています。) |

| <div>  <b>警告</b> </div>                       |                                                                                                                                                                                                                       |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div>  </div> <div> <b>コンセントから抜く</b> </div>  | <p>万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに本機の電源を切り、必ず電源プラグ及びACアダプターをコンセントから抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。</li> <li>●煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。</li> </ul>                     |
| <div>  </div> <div> <b>コンセントから抜く</b> </div>  | <p>内部に金属や燃えやすいもの、水などを入れない。万一、異物や水が入った場合は、電源プラグ及びACアダプターをコンセントから抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。</li> <li>●販売店にご連絡ください。</li> </ul>                                              |
| <div>  </div> <div> <b>分解禁止</b> </div>       | <p>本機を分解、修理、改造しない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●火災・感電の原因となります。</li> </ul>                                                                                                                               |
| <div>  </div> <div> <b>接続場所を選ぶ</b> </div>    | <p>電源プラグやACアダプターはすぐに手が届く位置にある家庭用コンセントに接続し、異常が発生した場合は速やかに電源プラグ及びACアダプターをコンセントから抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●手が届きにくい場所にあると、異常があったときに対応が遅れるおそれがあります。</li> <li>●本機の電源を切っただけでは、完全に電力を遮断できません。</li> </ul> |
| <div>  </div> <div> <b>禁止</b> </div>        | <p>表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●火災・感電の原因となります。</li> </ul>                                                                                                                 |
| <div>  </div> <div> <b>禁止</b> </div>       | <p>海外では使用しない。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●火災の原因となります。</li> <li>●この機器を使うのは日本国内のみです。</li> </ul>                                                                                   |
| <div>  </div> <div> <b>禁止</b> </div>       | <p>本製品を家庭用電源で使う場合は必ず付属の電源コードとACアダプターを使う。また、付属の電源コードやACアダプターは絶対に他の製品には使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●付属の電源コード及びACアダプターは本製品専用です。</li> <li>●製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。</li> </ul>               |
| <div>  </div> <div> <b>接触禁止</b> </div>     | <p>雷が鳴り始めたら、安全のため本機及び電源プラグ、ACアダプターに触れない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●感電の原因となります。</li> </ul>                                                                                                            |
| <div>  </div> <div> <b>禁止</b> </div>         | <p>狭い場所や壁に押し付けるなど、通気が妨げられる場所に設置しない。また、本機に新聞紙やテーブルクロス、カーテンなどをかけて通気口をふさがない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●火災の原因となります。</li> </ul>                                                                           |
| <div>  </div> <div> <b>禁止</b> </div>         | <p>本機の上に、例えば火のついたろうソクなど、火災の原因となるようなものを置かない</p>                                                                                                                                                                        |
| <div>  </div> <div> <b>禁止</b> </div>         | <p>本機の上に花瓶などの水が入ったものを置かない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●火災・感電の原因となります。</li> </ul>                                                                                                                       |
| <div>  </div> <div> <b>禁止</b> </div>         | <p>電源コードやACアダプターのコードを敷物などで覆わない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●気づかず重いものをのせてしまい、火災・感電の原因となります。</li> </ul>                                                                                                  |
| <div>  </div> <div> <b>水かけ禁止</b> </div>      | <p>本機を水のかかる場所や湿気のある場所で使わない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●感電や故障の原因となります。</li> </ul>                                                                                                                      |
| <div>  </div> <div> <b>禁止</b> </div>         | <p>電源コードやACアダプターを傷つけない、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●コードが破損して火災・感電の原因となります。</li> </ul>                                                                              |
| <div>  </div> <div> <b>禁止</b> </div>         | <p>本機や電源コード、ACアダプターの上に重いものをのせたり、コードの上に本機をのせない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。</li> </ul>                                                                                         |
| <div>  </div> <div> <b>使用中を中止する</b> </div> | <p>電源コードやACアダプターのコードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、使用を中止する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。</li> <li>●修理をご依頼ください。</li> </ul>                                                                   |
| <div>  </div> <div> <b>乾電池に注意</b> </div>   | <p>乾電池は幼児の手の届かないところへ置く。本機から乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が悪く誤って飲み込むことがないようにする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●万一、お子様が飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。</li> </ul>                                                           |
| <div>  </div> <div> <b>禁止</b> </div>       | <p>病院などの医療機関の中や医療機器の近く、心臓ペースメーカーの装着部位付近では使用しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●医療機器に悪い影響を与える可能性があります。</li> </ul>                                                                                         |

| ⚠ 注意                                                                                             |                                                                                          |                                                                                                |                                                                                                                                                                                                |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <br>禁止           | 調理台や浴室、加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるような場所に置かない<br>●火災・感電の原因となることがあります。                              | <br>正しく接続する   | テレビと接続する際は双方の電源を切り、付属の接続コードを使用する<br>●テレビの取扱説明書をよくお読みの上、接続端子を確認し、間違いのないように接続してください。                                                                                                             |
| <br>禁止           | ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない<br>●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。                              | <br>コンセントから抜く | お手入れの際には安全のため、電源プラグ及びACアダプターをコンセントから抜く<br>●感電の原因となることがあります。                                                                                                                                    |
| <br>禁止           | 電源コード及びACアダプターを熱器具に近づけない<br>●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。                             | <br>禁止        | 電源プラグやACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らない<br>●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。<br>●必ずプラグを持って抜いてください。                                                                                                           |
| <br>禁止           | 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない<br>●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。      | <br>アンテナをたたむ  | 持ち運ぶときは、アンテナをたたむ<br>●伸ばしたまま運ぶとアンテナが引っ掛かったり、当たったりなどしてけがの原因になることがあります。                                                                                                                           |
| <br>禁止           | ほごりの多い場所に置かない<br>●火災・感電の原因となることがあります。                                                    | <br>コンセントから抜く | 移動させるときは、必ず電源プラグ及びACアダプターをコンセントから抜く<br>●コードに引っかかって転倒したり、機器を破損するおそれがあります。                                                                                                                       |
| <br>濡れ手禁止        | 濡れた手で電源プラグやACアダプターを抜き差ししない<br>●感電の原因となることがあります。                                          | <br>コンセントから抜く | 旅行などで長時間本機を使わないときは、必ず電源プラグやACアダプターをコンセントから抜き、乾電池も取り外す<br>●火災・液もれの原因となることがあります。                                                                                                                 |
| <br>音量は小さく       | 電源を入れる前に音量を抑える<br>●電源を入れたとき、突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。                               | <br>禁止      | 電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、モニターなど)に近づけない<br>●電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。                                                                                                                        |
| <br>音量に注意      | ヘッドホン使用時は音量を上げすぎない<br>●耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。                      | <br>掃除をする   | 電源プラグやACアダプターとコンセントの接続部を定期的に掃除する<br>●電源プラグやACアダプターとコンセントの間にほごりがたまると自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的に接続部のほごりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。<br>●使用環境にもよりますが、2年に1回程度、機器内部の掃除をお勧めします。最寄りの販売店にご相談ください。 |
| <br>乾電池の電極性に注意 | 乾電池は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示通り正しく入れる<br>●間違えると乾電池の破裂、液もれにより火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。 |                                                                                                |                                                                                                                                                                                                |
| <br>禁止         | 指定以外の乾電池は使用しない。また、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使わない<br>●乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。      |                                                                                                |                                                                                                                                                                                                |

## 電波(無線機能)に関する注意事項

## 本機の機器認定について

本製品は電波法にもとづく小電力データ通信システムの無線設備として認証を受けていますので、ご使用にあたって無線局の免許は必要ありません。ただし、本機を分解・改造する行為、本機に貼ってある定格銘板を消したりはがしたりする行為は、法律により罰せられることがあります。

本製品は日本国内でのみ使用できます。

## 使用周波数と注意事項

本製品の使用周波数帯(2.4GHz帯)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許が必要)、特定小電力無線局(免許が不要)、及びアマチュア無線局(免許が必要)が運用されています。

1. ご使用の前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、及びアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 本製品の使用により、万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかにトランスミッター(送信機)の電源を切ってください。そのうえでお客様相談室(裏表紙)にご連絡いただき、混信回避のための処置(例えばパーティションの設置など)についてご相談ください。
3. そのほか、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合や、ご不明点がございましたら、当社お客様相談室(裏表紙)までお問い合わせください。

## 本体の表示について

2.4X X8

この無線機が2.4GHz帯を使用し、変調方式はGFSK方式(その他の方式)、と干渉距離が80m以内、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能を表します。

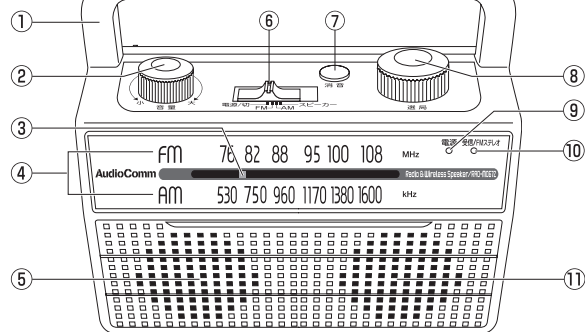
## 医療機器近くでの使用に関する際は、特に注意してください

- 本機を使用中に気分が悪くなった場合は、ただちに使用を中止してください。
- 病院内など無線機器の使用を禁止された区域では、本機の電源を切ってください。また、無線機器の使用が制限された区域では、施設管理者などに確認のうえ使用してください。他の機器に悪影響を与えたり、事故の原因となります。
- 医療機器及び人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では絶対に使用しないでください。
- 植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本機を22cm以上離して携行及び使用してください。電波によりペースメーカー及び除細動器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。
- 混雑している場所では、周囲に植込み型心臓ペースメーカーまたは植込み型除細動器を使用している人がいる可能性がありますので、ご使用の際は十分にご注意ください。
- 医療機関内では次のことを守ってください。
  - ・手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には持ち込まない。
  - ・病棟内では本機を使わない。
  - ・ロビーなどでも、周囲に医療機器がある場所では電源を切る。
  - ・その他、医療機関による使用制限・使用禁止指示は必ず守る。
- 植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している方で、自宅などでの療養中の方は、本機をご使用になる前に、電波による影響について個別に医療機器メーカーなどにご確認ください。電波により医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

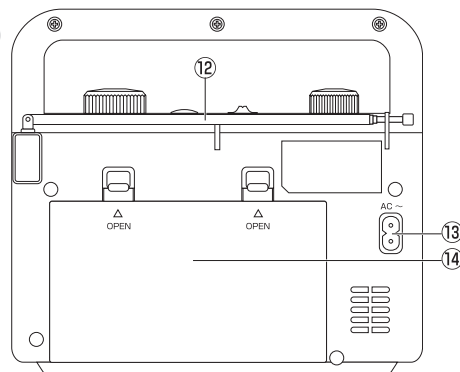
## 各部の名称

### 本機

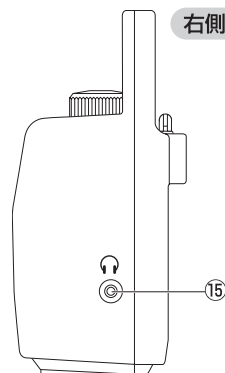
#### 前／上面



#### 背面

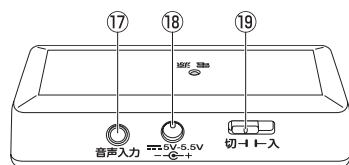
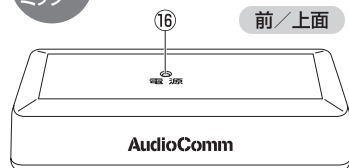


#### 右側面



### トランスミッター

#### 前／上面



#### 背面

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| ① キャリーハンドル       | ⑫ FM ロッドアンテナ     |
| ② 音量ツマミ          | ⑬ AC 100V 電源ソケット |
| ③ 選局指針           | ⑭ 電池カバー          |
| ④ 選局目盛           | ⑮ ヘッドホン端子        |
| ⑤ 左スピーカー         | ⑯ 電源ランプ          |
| ⑥ 電源／ファンクションスイッチ | ⑰ 音声入力端子         |
| ⑦ 消音ボタン          | ⑱ DC5V 電源端子      |
| ⑧ 選局ツマミ          | ⑲ 電源スイッチ         |
| ⑨ 電源ランプ          |                  |
| ⑩ 受信／FM ステレオランプ  |                  |
| ⑪ 右スピーカー         |                  |

## 電源について



- 電源コードやACアダプターを抜き差ししたり、乾電池を出し入れするときは、電源が切れた状態で行なってください。
- 電源を入れる前に音量を絞ってください。電源を入れたときに突然大きな音が出て、聴力に悪い影響を与えることがあります。

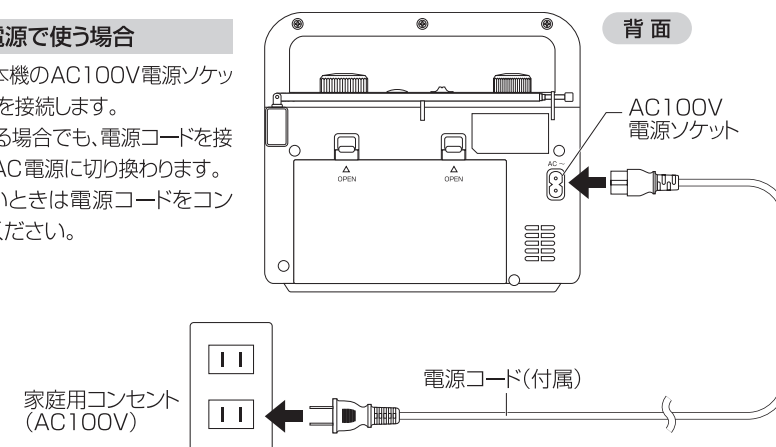
付属の電源コードとACアダプターは本製品専用です。本製品をご使用の際には必ず付属の電源コードとACアダプターをお使いください。また、付属の電源コードやACアダプターは絶対に他の製品には使用しないでください。製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。

### 本機と電源の接続方法

#### 家庭用電源で使う場合

付属の電源コードで本機のAC100V電源ソケットと家庭用コンセントを接続します。

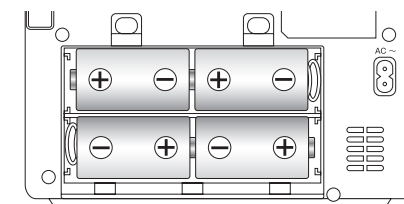
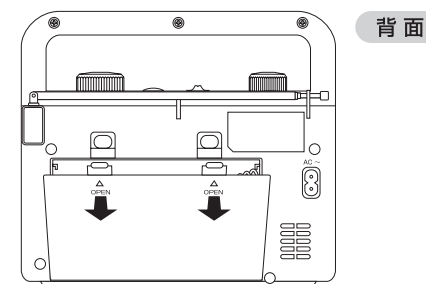
- 乾電池が入っている場合でも、電源コードを接続すると自動的にAC電源に切り換わります。
- 本機を使用しないときは電源コードをコンセントから外してください。



#### 乾電池で使う場合

- 電池カバーのツメを外して開けます。
- 乾電池の⊕と⊖を間違えないように、単1形乾電池4本を図のように入れます(コイルばねのあるほうが⊖側です。乾電池を入れるときは、必ず⊖側から入れてください)。
- 入れ終わったら電池カバーを元どおりにしっかり閉めます。

- ・アルカリ乾電池のご使用をお勧めします。
- ・長時間使用するときは、付属の電源コードをご使用ください。



単1形乾電池4本使用(別売)

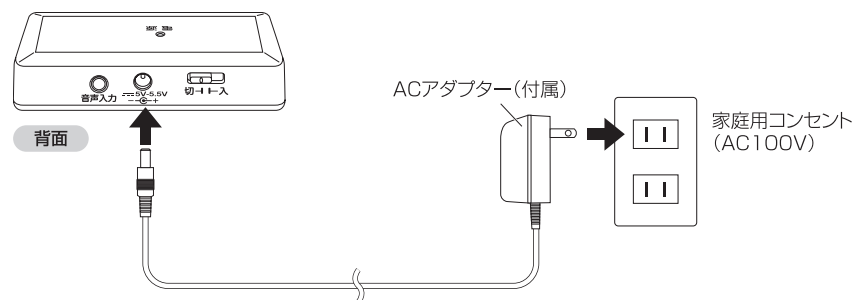
次ページに続く 6



## 電源について(続き)

### トランスミッターと電源の接続方法

付属のACアダプターでトランスミッターのDC5V電源端子と家庭用コンセントを接続します。  
※ラジオとしてご使用の場合は、トランスミッターの接続は不要です。



### 乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。



**警告**

- ・直射日光、火などの過度の熱にさらさない
- ・火中への投入、加熱、分解をしない
- ・取り外した乾電池を幼児に触らせない
- ・ショートさせない



**注意**

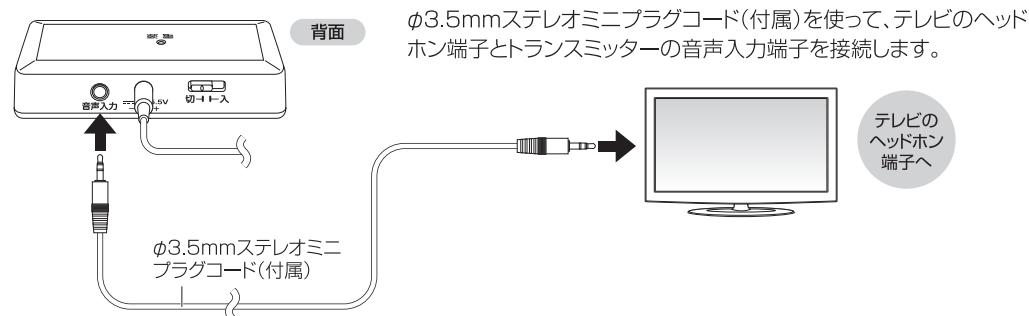
- ・⊕⊖の表示通りに入れる
- ・指定以外の乾電池を入れない
- ・使用推奨期限内の乾電池を使用する
- ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に入れない
- ・使い切った乾電池はすぐに取り出す
- ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

- 万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
- 万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
- 使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

## トランスミッターの接続のしかた

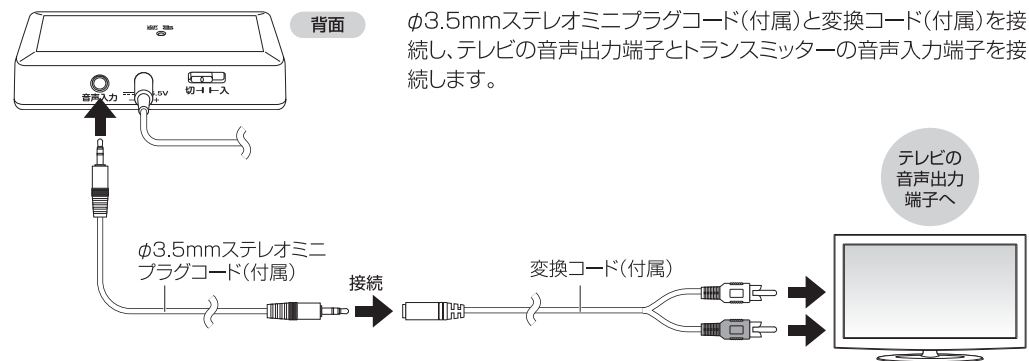
聴きかたによって接続方法が異なりますので、お好みに応じてお選びください。いずれの場合も、トランスミッター背面の電源スイッチが「切」になっていることを確認してから接続してください。

### 接続方法① テレビの音を消し、本機からの音だけを聴きたいときは



- この接続方法の場合、テレビ側で音量調節をすると、本機スピーカーの音量も上下します。
- テレビ側の音量設定を音が歪まない程度で、できるだけ大きくしてください。小さいと音が途切れることがあります。
- 図にしたがって接続した場合でも、テレビによっては「スピーカー出力切換」などの機能により、テレビと本機の両方から音が出る機種もあります。詳しくはテレビの取扱説明書をご確認ください。

### 接続方法② テレビと本機の両方で音声を出力したいときは

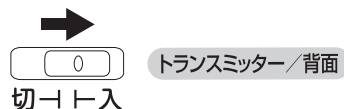


- この接続方法の場合、本機スピーカーの音量とテレビ側の音量はそれぞれ独立して調節できます。本機スピーカーの音量は本機の音量ツマミで調節してください。
- 変換コードの端子(赤/白)は、テレビにある同じ色の音声出力端子にそれぞれ接続してください。テレビ側の音声出力設定を変更しないと音が出ない場合があります。詳しくはテレビの取扱説明書をご確認ください。
- 本機スピーカーからの音がテレビからの音よりも少し遅れて聞こえることがありますが、故障ではありません。
- テレビに音声出力端子がない場合は、接続方法①「テレビの音を消し、本機からの音声だけで聴きたいときは」の方法で接続してください。

## テレビの音を本機で聴く

トランスミッターと本機の距離は約30m以内でご利用ください(壁やタンスなどの遮蔽物があると、受信可能範囲は狭くなります)。トランスミッターと本機はあらかじめ電波受送信の設定がなされており、すぐにお使いいただけます。

- 1 テレビの電源を入れて放送局を選んだ後、トランスミッターの電源スイッチを「入」に合わせます。  
電源ランプが点灯します。



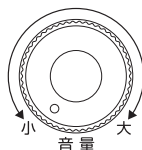
- 2 本機の電源/ファンクションスイッチを「スピーカー」に合わせます。

- 電源ランプが点灯します。また、受信/ FMステレオランプ(赤)が速く点滅したあと点灯します。
- トランスミッターの電源が入っていないときは、受信/ FMステレオランプ(赤)点滅します。



- 3 音量ツマミを回して音量を調節します。

- 音量の上げすぎにご注意ください。
- 音量の調節方法は接続方法によって異なります(P.8 参照)。



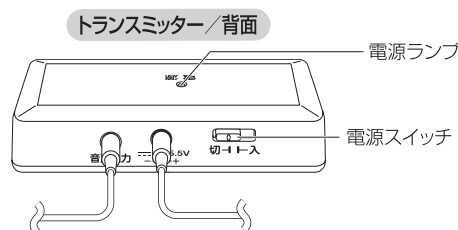
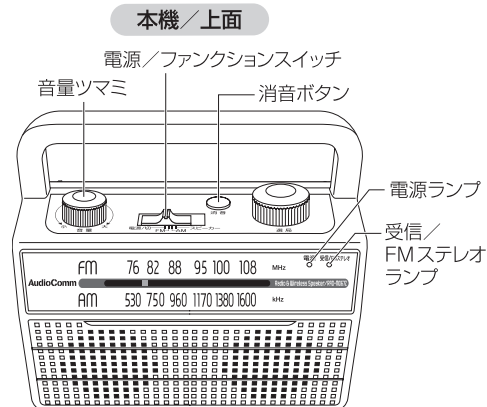
### 消音ボタンについて

消音ボタンを押すと本機からの音が消えます。もう一度押すと元に戻ります。



- 4 終了するときは、本機の電源/ファンクションスイッチを「電源/切」に合わせ、トランスミッターの電源スイッチを「切」に合わせます。

本機の電源ランプと受信/ FMステレオランプが消灯し、トランスミッターの電源ランプも消灯します。



- ステップ②でトランスミッターからの電波を認識できなかった場合、受信/ FMステレオランプは速い点滅のあとゆっくりとした点滅になります。このような状況になったら、以下の点をご確認ください。

- ・トランスミッターの電源は入っていますか(→ACアダプターの接続及び電源ランプが点灯していることを確かめてください)
- ・本機とトランスミッターの距離が離れすぎていませんか(→受信可能範囲に移動させてください)
- ・近くでWi-Fi機器やデジタルコードレス電話、電子レンジ、2.4GHz帯を使用する製品を使用していないですか(→それらの機器から本機及びトランスミッターを離してください)
- 上記を確認しても正常に戻らない場合は、P.10「ペアリングをしない」の項を参照してトランスミッターと本機の受送信設定をやりなおしてください。

## ペアリングをしない

無線電波の送信側と受信側が相互の機器を認識し、電波のやりとりができるようにすることを「ペアリング」と言います。本製品は工場出荷時にペアリング済みですが、正常に受信できなくなった場合は、下記の手順でペアリングをしないしてください。

本機は付属の専用トランスミッター以外では使えません。

- 1 本機とトランスミッターの距離を10m以内に近づけます。

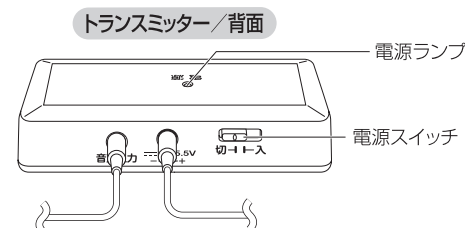
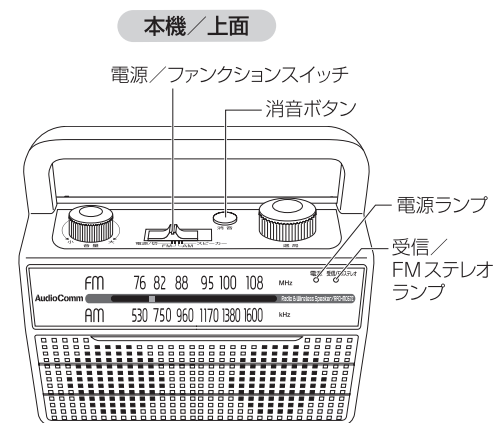
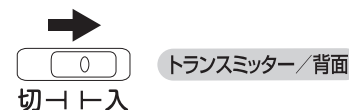
- 2 本機の電源/ファンクションスイッチを「スピーカー」に合わせます。  
電源ランプが点灯します。また、受信/ FMステレオランプ(赤)が素早く点滅したあと、ゆっくりとした点滅に変わります。



- 3 消音ボタンを5秒間長押しします。  
受信/ FMステレオランプが速い点滅に変わります。

- 4 60秒以内にトランスミッターの電源スイッチを「入」に合わせます。

- トランスミッターの電源ランプが点灯します。
- 正常にペアリングが完了すると、受信/ FMステレオランプが点滅から点灯に変わります。
- テレビとトランスミッターを接続済みの場合は、そのままお使いいただけます。
- 未接続の場合はいったん両機器の電源を切り、テレビとトランスミッターを接続してから再度電源を入れてお使いください。



ペアリングは、無線電波を発する他の機器がない場所で行なってください。類似の機器が近くにあると、混信して誤認識・誤動作の原因になります。

## ラジオを聴く

### FM補完放送「ワイドFM」について

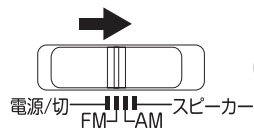
本機はFM周波数帯域が76.0～108.0MHzまであり、FM補完放送「ワイドFM」に対応しています。

FM補完放送「ワイドFM」とは、AM放送局の放送区域において難聴対策や災害対策のために新たにFM放送用に割り当てられた90.1～94.9MHz周波数帯域を用いて補完的にAM番組を放送することです。

FM補完放送「ワイドFM」の開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

### 1 本機の電源／ファンクションスイッチを「FM」または「AM」に合わせます。

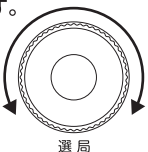
電源ランプが点灯します。



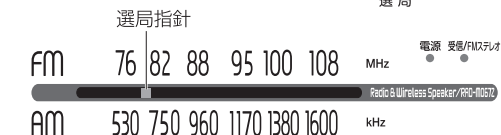
本機／上面

### 2 選局指針を確かめながら選局ツマミを回し、聴きたい放送局を受信します。

良好な状態でFMステレオ放送を受信すると、受信／FMステレオランプが青く点灯します。

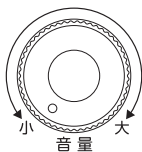


選局



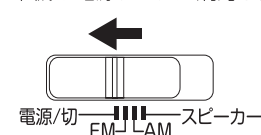
### 3 音量ツマミを回して音量を調節します。

- 音量の上げすぎにご注意ください。
- ラジオ受信時は消音ボタンを押しても音は消えません。



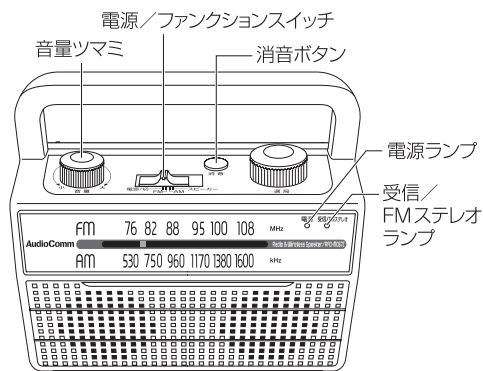
### 4 終了するときは、本機の電源／ファンクションスイッチを「電源／切」に合わせます。

本機の電源ランプが消灯します。



本機／上面

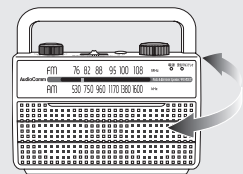
本機／上面



受信状態をよくするには

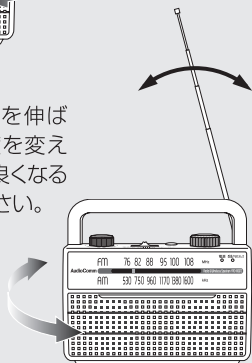
#### ●AM放送の受信

本機にアンテナが内蔵されています。本機を動かして最も受信状態の良い向きを見つけてください。室内の場合、窓際のほうが良く受信できます。



#### ●FM放送の受信

FMロッドアンテナを伸ばし、長さ、方向、角度を変えて受信状態が最も良くなるように調節してください。

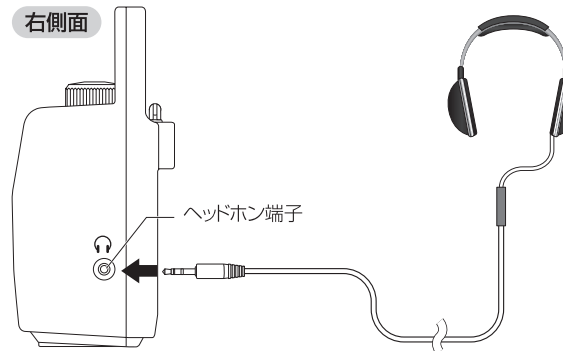


●テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると、雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機を離してください。

●持ち運ぶときは、目をついたり危険ですので、FMロッドアンテナを縮めた状態で持ち運んでください。

## ヘッドホンで聴くときは

右側面



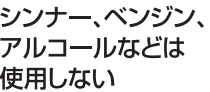
- 別売のヘッドホン(φ3.5mmステレオミニプラグ)をヘッドホン端子につなぎます。ヘッドホンをつなぐと、スピーカーからの音は聴こえなくなります。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。
- 家庭用電源でご使用時、ヘッドホンでお聴きになると、ハム音(ラジオなどの音声に混じって聴こえる「ブーン」という音)が耳障りになることがあります。その場合は、乾電池にてご使用になられるようお願いいたします。

## 故障かなと思ったら

|                    | 症 状                 | チェック項目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|--------------------|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 本機                 | 電源ランプが点灯しない         | <ul style="list-style-type: none"> <li>○電源コードが外れて(ゆるんで)いませんか。</li> <li>○乾電池は正しく入っていますか。</li> <li>○乾電池が消耗していませんか。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|                    | 音が出ない・音が小さい         | <ul style="list-style-type: none"> <li>○音量が最小になっていませんか。</li> <li>○ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれていませんか。</li> <li>○ファンクションを正しく選びましたか。</li> <li>○乾電池が消耗していませんか。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|                    | ラジオに雑音が入る           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○近くで携帯電話を使用していませんか。</li> <li>○テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると雑音が入ることがあります。また、テレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機をテレビから離してください。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                             |
| トランスミッター及びテレビ音声受信時 | 電源ランプが点灯しない         | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ACアダプターが外れて(ゆるんで)いませんか。</li> <li>○電源スイッチは「入」になっていますか。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|                    | 音が出ない・音が小さい<br>混信する | <ul style="list-style-type: none"> <li>○テレビ側または本機の音量が最小になっていませんか。</li> <li>○ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれていませんか。</li> <li>○消音ボタンが押されていませんか。</li> <li>○ファンクションを正しく選びましたか。</li> <li>○乾電池が消耗していませんか。</li> <li>○本機とトランスミッターの距離が30m以上離れていたり、双方の間に遮蔽物がありますか。</li> <li>○周囲でWi-Fi機器やデジタルコードレス電話、電子レンジ、Bluetooth対応のマウスやキーボードなどを使用していないか(それらから離して使用してください)。</li> <li>○周囲に無線機を使う施設や放送局がありませんか。</li> </ul> <p>上記の確認をしても改善が見られない場合は、P.10を参照してペアリングを行なってみてください。</p> |

## お手入れのしかた

●シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、絶対に使用しないでください。



## 主な仕様

※1 乾電池での連続使用時間の目安は、アルカリ乾電池使用(音量：中程度)の場合の目安です。乾電池の種類や使用状況によって異なります。

※本製品の仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

※取扱説明書のイラストが製品と一部異なる場合があります。

## 保証書とアフターサービスについて

## 保証書について

修理によって機能が維持できる場合は、お客様の要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。